

平成24年度 入学試験問題  
看護科学域博士後期課程 筆記試験

試験時間  
10:00～12:00 120分間

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. この問題冊子は11ページである。(表紙を含む)
3. 試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答用紙の所定の記入欄には、監督員の指示に従って、それぞれ正しく記入すること。
5. 解答は、解答用紙の解答欄に記入すること。
6. 筆記試験に際しては、英和辞典1冊の持ち込み参照を認める。(専門用語辞典及び電子辞典の持ち込みは不可とする。)
7. 問題冊子の余白等は適宜使用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
8. 試験終了まで退室してはいけない。
9. 解答用紙は必ず提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

首都大学東京 大学院 人間健康科学研究科

(問題は次の頁から始まります。)

この問題冊子の構成は以下の通りです。

- |   |             |     |     |
|---|-------------|-----|-----|
| 1 | 母性看護学領域     | ・・・ | 3頁  |
| 2 | 小児看護学領域     | ・・・ | 5頁  |
| 3 | 高齢者看護学領域    | ・・・ | 6頁  |
| 4 | 地域・在宅看護学領域  | ・・・ | 7頁  |
| 5 | 地域精神看護学領域   | ・・・ | 9頁  |
| 6 | 地域看護活動評価論領域 | ・・・ | 10頁 |
| 7 | 看護倫理学領域     | ・・・ | 11頁 |

解答は、7領域中2領域について必答とします。

まず、各自が専攻する専門領域を選択して、その問題について解答しなさい。

ただし、地域・在宅看護学領域の問題は[A]と[B]のどちらか1題を選択し、解答しなさい。

さらに、他の領域から1領域を選択して、その問題について解答しなさい。

## 母性看護学領域

以下の英文を読み下記の問いに答えなさい。

(Tarkka MT: Predictors of maternal competence by first-time mothers when the child is 8 months old. *Journal of Advanced Nursing*; Vol. 41 (3), pp. 233-234. 2003.より抜粋).

問1. 下線部を日本語にしなさい。

問2. 上記の文章を踏まえ、助産師として、妊娠、分娩、産褥期にある女性への具体的な支援について 600 字以内であなたの考えを述べなさい。

## 小児看護学領域

次の英文は1型糖尿病を発症した子どもの父親の体験に関する論文の「はじめに」に当たる部分です。この文章を読んで、以下の問いに日本語で答えなさい。

(Sullivan-Bolyai, S., Rosenberg, R. & Bayard, M. (2006).Fathers' Reflections on Parenting Young Children with Type 1 Diabetes. *The American Journal of Maternal/Child Nursing*, 31(1), 25-26. より引用。)

問1. 下線部1) を日本語に訳しなさい。

問2. 下線部2) **the illness-related care required** とは例えばどのようなことを指していると思いますか。あなたの知っている具体的な例を挙げて 150 字以内で説明しなさい。

問3. 下線部3) を日本語に訳しなさい。

問4. この研究の目的を 200 字以内で記述しなさい。

## 高齢者看護学領域

次の文章を読んで、以下の問いに日本語で答えなさい。

(From Gaugler, J.E., Mittelman, M.S., Hepburn, K., & Newcomer, R. (2010). Clinically significant changes in burden and depression among dementia caregivers following nursing home admission. *BMC Medicine*, 8,85.)

問1. この研究の要旨を簡潔に述べなさい。

問2. この研究において用いられた測定具について知るところを述べなさい。

問3. この研究の看護研究、看護実践、看護教育等看護科学における意義と応用可能性について考えを述べなさい。

## 地域・在宅看護学領域[A]

次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

(Polit, D. F. & Beck, C. T. (2008). Nursing research: generating and assessing evidence for nursing practice (8th ed., pp. 30-31). Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins. より抜粋)

問1. 本文を日本語で要約しなさい。

問2. 下線部(1)について、保健師の実践での具体的な事例を説明しなさい。

問3. 下線部(2)について、あなたの考えを述べなさい。

## 地域・在宅看護学領域[B]

以下の論文(抄録)を読んで、問いに答えなさい。

(Nursing Research, Vol.58, No.3, p.175, 2009)

問1. 要旨(目的・方法・結果・考察)について説明しなさい。

問2. この研究の知見は、あなたの研究フィールドでどのように活用できますか。

## 地域精神看護学

以下の論文(抄録)を読んで、問いに答えなさい。

Psychiatry Clin Neurosci. 2008 Jun;62(3):247.

問1. 研究の概要を日本語で要約し、あなたの考えを述べなさい。

## 地域看護活動評価論領域

Explain the negative effect of overmatching in case control studies.

## 看護倫理学領域

次の英文を読み、以下の問いに答えなさい。

(Stephen G. Post.: Encyclopedia of Bioethics 3rd ed.(vol.4),Macmillan Reference USA, 1898-1903, 2004 より抜粋)

問1. 下線部①The development of nursing ethics has paralleled the development of nursing as a profession.を日本語に訳し、著者がこのように述べる理由や根拠について、あなたの考えを述べなさい。

問2. 下線部②bioethicsとは何か説明しなさい。

問3. bioethics が看護実践にどのように影響を及ぼしているか、具体的な事例を挙げて説明しなさい。